

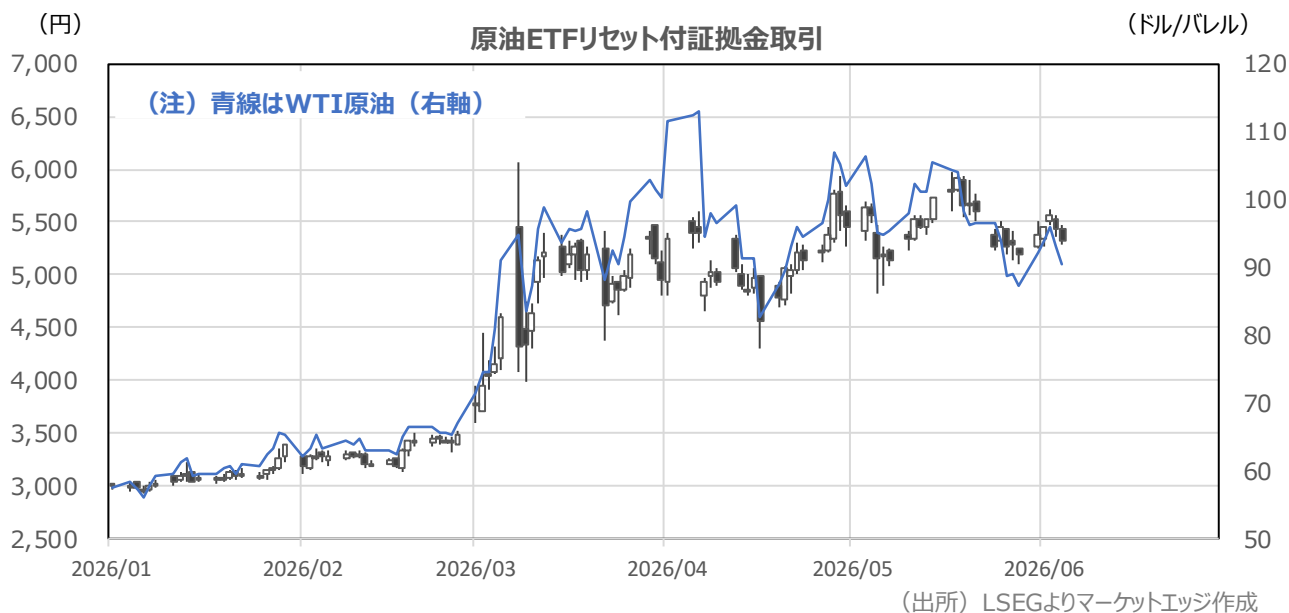
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/06/08号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



3週間ぶり反発、中東情勢に揺れ動く

NY原油先物相場は、1バレル=97.00ドルまで切り返した後、90ドル台中盤まで反落する不安定な値動きになった。週前半はイスラエルとレバノン間で攻撃の応酬があったことが材料視され、原油相場は強含みの展開になった。イランはレバノンでの軍事衝突を理由に米国との和平協議を停止するなど、混乱は広がりを見せた。しかし、週後半はイスラエルとレバノンが停戦履行で合意したことを受け、上げ幅を削る展開になった。為替相場がドル高に振れたこともネガティブ材料。前週比では3週間ぶりに上昇した。

トランプ米大統領は、イランとの交渉が「最終段階」にあるとの見方を示した。しかし、イランのアラグチ外相は、協議にほとんど進展がみられないと報告している。また、イスラム教シーア派組織「ヒズボラ」は、停戦の受け入れを拒否しており、高レベルの先行き不透明感が維持されている。情報が錯綜しており、原油相場も瞬間的な乱高下を繰り返す展開が続いている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月29日時点）は、原油が前週797万バレル減、ガソリンが336万バレル増、石油精製品が250万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【展望】

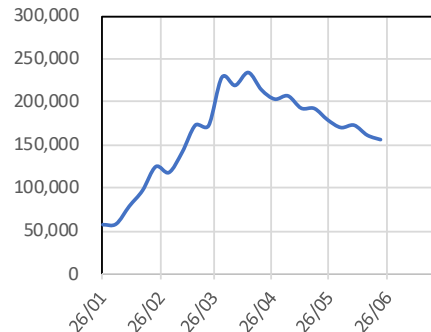
イラン情勢に一喜一憂が続く、トレンドが定まりづらい

イラン情勢に強く依存する展開が続く。前週はイスラエルとレバノンの交戦が原油相場を押し上げる場面もみられたが、米国とイランの和平合意に対する期待感も強く、ボックス相場内での乱高下が続いている。足元の需給はひっ迫しており、在庫の取り崩しが続けば、本格的な調達難に陥る「オイルショック」に発展するリスクもある。ホルムズ海峡の封鎖解消の見通しが立たない場合には、改めて100ドル台に乗せる可能性がある。

一方で、米国とイランの和平合意に対する期待が高まれば、将来の供給増加見通しから80ドル台後半まで軟化する可能性がある。イスラエルが改めて交戦状態に陥らず、米国とイランの双方から和平合意の実現に向けた楽観的な動きが報告されると、上値の重い展開になろう。基調としては、和平合意実現後のリスクプレミアム剥落による値下がりが見込まれるが、上下双方に明確なトレンドを形成するのは難しい状況が続く。先行き不透明感の強さから、イラン情勢に関する動きに瞬間的な反応を繰り返す展開が続きやすい。

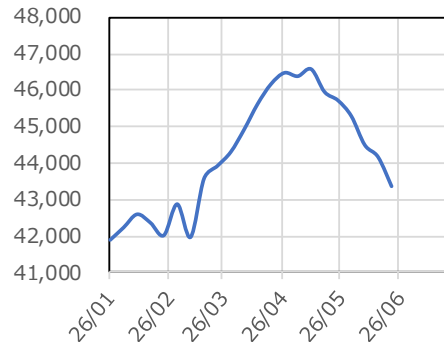
価格上昇リスクとしては、ホルムズ海峡の封鎖長期化が警戒される。このまま原油供給が大きく落ち込んだ状態が続けば、アジア地区では原油・石油製品の調達が困難となり、経済危機に発展する国も出てくる見通しだ。どのタイミングで臨界点を迎えるのかが焦点になる。一方、石油需要環境にも大きなダメージが発生していること、中国が原油調達量を抑制していることが、原油相場の上値を圧迫している。需要環境が一段と悪化した状態で、ホルムズ海峡の封鎖解消に向けた見通しが強まると、リスクプレミアム剥落の動きが加速しやすくなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



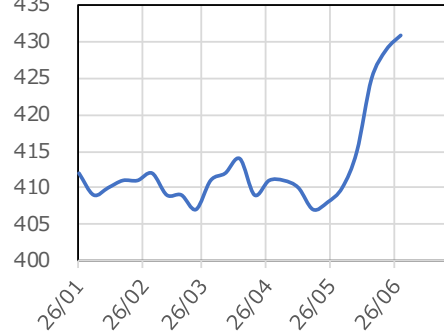
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

